

登山関連ニュース 2026年3月23日

過去 24 時間以内に発生した登山活動に影響を及ぼす重要ニュースを、重要度の高い順に整理して報告いたします。

重要度	項目	内容・影響
S (最優先)	【通行規制】静岡市葵区・南アルプス登山口アクセス遮断	静岡市葵区の県道で大規模な土砂崩れが発生し、白樺荘や樫島ロッジ方面への道が完全に寸断されました。現在、宿泊客ら 79 名が孤立しており、復旧の目処は立っていません。南アルプス南部(赤石岳・荒川岳等)への入山は当面不可能な状況です。
S (最優先)	【気象・雪崩】北海道・群馬県等で雪崩注意報発令	3月22日から23日にかけて、北海道(札幌、小樽、十勝地方等)および群馬県(利根沼田地域)で雪崩注意報が継続して発令されています。気温の上昇や降雨による「全層雪崩」の危険が高まっており、急傾斜地や沢筋での活動は極めて危険です。
S (最優先)	【火山情報】岩手山・浅間山の火山活動活発化	岩手山では噴火警戒レベル2(火口周辺規制)が継続しており、23日朝にも降灰予報が発表されました。浅間山でも火山性地震が増加傾向にあり、レベル2が継続中です。火口から概ね2km以内への立ち入りは禁止されています。
A (高)	【遭難】バックカントリー遭難が相次ぐ(長野・北海道・新潟)	長野県小谷村(唐松沢付近)で男女2名が遭難し、23日朝から捜索が開始されています。また、北海道三段山での雪崩による重体事故や、新潟県湯沢町での負傷救助も発生。春の不安定な積雪状況による事故が急増しています。
A (高)	【クマ出没】上高地・西穂高岳周辺での目撃情報	上高地の登山道や焼岳小屋周辺でクマの目撃が相次いでいます。冬眠明けの活動期に入っており、特に早朝や夕方の行動には注意が必要です。クマ鈴の携行や食料管理の徹底が強く推奨されます。
B (中)	【気象】本州通過中の低気圧による天候急変	23日は低気圧の通過に伴い、太平洋側で雨、北陸や東北では雷雨の可能性がります。標高の高い山域では着氷雪や視界不良に注意が必要です。25日以降も再び広範囲で雨の予報が出ています。
B (中)	【道路開通】那須ロープウェイ方面の冬季閉鎖解除	栃木県の那須高原線(大丸温泉～那須ロープウェイ山麓駅)の冬季通行止めが解除されました。那須岳へのアクセスが向上しますが、路面凍結や残雪への備えは引き続き必須です。

登山者へのアドバイス

現在の山岳域は、冬から春への過渡期にあり、一年の中でも特にリスクが多様化する時期です。以下の点に細心の注意を払ってください。

- 1 **雪崩への嚴重な警戒:** 気温の上昇や雨は、積雪層を不安定にします。特に「全層雪崩」は予測が難しく、過去のデブリ（雪崩跡）がある場所や斜面の下部には絶対に立ち入らないでください。
- 2 **アクセス情報の再確認:** 静岡側の南アルプス登山口のように、予期せぬ災害でルートが遮断されるケースがあります。出発直前まで最新の道路規制情報を確認してください。
- 3 **装備の再点検:** 低山では春の陽気でも、稜線では氷点下や強風による低体温症のリスクがあります。また、アイゼンやピッケルが必要な残雪期装備と、冬眠明けのクマ対策（クマ鈴・スプレー）の両方を準備してください。
- 4 **火山情報の注視:** 岩手山や浅間山など、活動が活発な火山へ向かう際は、必ずヘルメットを携行し、自治体の指示に従って規制区域には絶対に立ち入らないでください。

春の山は美しい反面、変化が激しく残酷です。自身の技術と経験に照らし合わせ、少しでも不安がある場合は「撤退」や「計画変更」を躊躇しないでください。